

欠損累積モデルに基づいたElectronic Multimorbidity Frailty Index (eMFI)の妥当性の検証と短縮版の作成に関する研究

●研究の対象

2023年7月1日～2024年3月31日、および2024年6月1日～2024年12月31日までに当センターに入院した方

●研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～2026年3月31日

●研究の目的および意義

電子カルテを用いたフレイル指標「electronic Multimorbidity Frailty Index (eMFI)」が、自宅退院困難、入院中死亡、基本的ADLの悪化、術後合併症等の予測因子として有用であるかについて調査します。またeMFIの短縮版を作成します。

●研究の方法

当センターに入院された方のeMFIのデータと、自宅退院困難、入院中死亡、基本的ADLの悪化の関連を統計解析を行って調べます。また、入院して手術を受けられた方には、上記に加え、eMFIのデータと術後合併症の関連も調べます。そのほか、入院中の転倒や、フレイル、認知機能等との関連も調べます。さらに解析を行って短縮版eMFIを作成し、診療データを用いてその妥当性を検証します。

●研究に使用する試料・情報 の種類

研究の対象の方の年齢、性別、カルテ番号、病歴、身長、体重、血液・尿データ、eMFIの指標(慢性疾患、老年症候群、認知・生活機能障害)のほか、フレイル外来を受診された方には、フレイルの指標、認知機能、体組成(InBody)による筋肉量、握力、身体能力(歩行速度、Timed Up & Go テスト、Short Physical Performance Battery (SPPB))、うつ状態等を使用します。また、自宅退院困難、入院中死亡、基本的ADLの悪化、術後合併症、在院日数、入院中の転倒、栄養指導、リハビリテーションの有無等の情報を使用します。

●研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター フレイル予防センター 荒木 厚

研究分担者：豊島堅志、田村嘉章、大庭和人、村尾雄治、寄川史乃、鳥羽梓弓、石川譲治、原田和昌、濱谷広頌、岩切理歌、金澤伸郎、中里徹矢、河田光弘、安樂 真樹、秋下雅弘、鳥羽研二、笹井浩行、平田匠、村山洋史、小宮山恵美、本川佳子、平野浩彦、大淵修一、藤原佳典

●お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

フレイル予防センター 田村嘉章

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）

研究責任者：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

フレイル予防センター 荒木 厚

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）